



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務統括部財務マネージャー (氏名) 松本 英士 TEL 047 (774) 8748
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,302	△2.6	△90	—	△85	—	△154	—
2019年3月期第3四半期	7,497	△7.5	44	△78.8	43	△76.8	35	△72.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △152百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△9.17	—
2019年3月期第3四半期	2.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,836	3,552	45.3
2019年3月期	8,364	3,755	44.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,552百万円 2019年3月期 3,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,480	△2.2	△170	—	△170	—	△230	—	△13.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,392,000株	2019年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,514,996株	2019年3月期	1,514,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	16,877,004株	2019年3月期3Q	17,505,026株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、「食品ロスの削減の推進に関する法律」の公布などにより環境問題に対する消費者の関心がさらに高まり、「持続可能な社会を創る」ための取り組みが食品業界においても必要となっております。また、人手不足の進行や物流コストの上昇により既存の生産体制の見直しが迫られております。

そのような変化の中、当社は「農家と地域が喜ぶ仕組みをつくる」をテーマに掲げ、前期の成果を活かし、既存ビジネスの収益構造の改善と新しいビジネスモデルの確立の双方に取り組んでおります。当期におきましては、地域食材を使用した「千葉市原の姉崎だいこんおろしソースハンバーグ」、「筑波山麓の玉ねぎを使ったハンバーグオニオンソース」や地域の筍ごはん・栗ごはんシリーズをはじめとする地域商品については順調に推移しております。一方、ミートボール及びハンバーグ等のプライベートブランド商品を中心に売上の減少が続いており厳しい状況となりました。

正月料理につきましては、前期から取り組んでいる重詰めおせちの全食材の国産化・産地の明確化の取り組みを強化し、より地域の食材を活かした商品を販売するとともに、環境に配慮した包材を導入するなどの新たな取り組みを行うことで新たなチャネル開拓を進めてまいりました。一方で、正月料理市場では消費者の生活スタイルの多様化及び参入企業の飽和により価格競争が激しくなり、当社においても量販店での売上が減少したことにより、正月料理の売上は減少いたしました。

また、様々な地域において当社の新たなブランド価値を向上させる取り組みを強化いたしました。そのため、ブランディング費用の増加等により販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73億2百万円（前年同期比1億94百万円減）となりました。販売費及び一般管理費が28億26百万円（前年同期比1億4百万円増）となり、90百万円の営業損失（前年同期は44百万円の利益）となりました。また、経常損失は85百万円（前年同期は43百万円の利益）となり、これに特別利益、特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億54百万円（前年同期は35百万円の利益）となりました。

製品別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

製品別売上高	前第3四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 12. 31)		当第3四半期連結累計期間 (2019. 4. 1～2019. 12. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	6,254,544	83.4	6,136,768	84.1	△117,776	98.1
惣菜	481,872	6.4	455,131	6.2	△26,741	94.5
正月料理	523,134	7.0	453,810	6.2	△69,323	86.7
非常食	108,943	1.5	75,245	1.0	△33,698	69.1
地域商品	48,509	0.6	106,836	1.5	58,326	220.2
配慮食（食物アレルギー・減塩他）	34,586	0.5	37,165	0.5	2,579	107.5
その他	45,683	0.6	37,572	0.5	△8,111	82.2
合計	7,497,275	100.0	7,302,530	100.0	△194,744	97.4

（注）製品別売上高の区分の変更

前第3四半期連結累計期間の当社グループの製品区分は、「食肉加工品（ハンバーグ・ミートボール他）」「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」「惣菜（サラダ・煮物他）」「非常食」「配慮食（アレルギー・減塩）」「地域商品」「正月料理」「その他」の区分に分類しておりました。当第3四半期は製品区分の見直しを行い、「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」及び「惣菜（サラダ・煮物他）」を「惣菜」として一括表示するとともに、「配慮食（アレルギー・減塩）」「地域商品」「正月料理」「その他」の一部製品を「惣菜」区分に変更いたしました。

前年同期比については、前第3四半期連結累計期間に遡って製品区分の変更を適用して算定しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は78億36百万円（前連結会計年度末比5億28百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少7億30百万円、売掛金の増加3億36百万円、有形固定資産の減少1億38百万円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は42億84百万円（前連結会計年度末比3億25百万円減）となりました。主な要因は、買掛金の増加1億53百万円、短期借入金の減少5億円、未払費用の増加78百万円、賞与引当金の減少80百万円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は35億52百万円（前連結会計年度末比2億3百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上1億54百万円、配当金の支払50百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は25億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億30百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は1億14百万円（前年同期は38百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失の計上、減価償却費の計上、賞与引当金の減少、売上債権の増加、仕入債務の増加であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は45百万円（前年同期は23百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の売却による収入、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は5億70百万円（前年同期は90百万円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出、配当金の支払額であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年1月29日の「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,323,639	2,592,862
売掛金	1,374,784	1,711,241
商品及び製品	65,609	78,323
仕掛品	12,661	9,285
原材料及び貯蔵品	148,134	157,018
その他	40,859	48,296
流動資産合計	4,965,689	4,597,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,133,099	1,093,936
機械装置及び運搬具(純額)	732,945	670,479
工具、器具及び備品(純額)	24,000	29,096
土地	904,052	857,452
リース資産(純額)	76,842	81,164
有形固定資産合計	2,870,940	2,732,129
無形固定資産	21,075	28,433
投資その他の資産		
投資その他の資産	556,050	527,715
貸倒引当金	△48,916	△48,916
投資その他の資産合計	507,133	478,798
固定資産合計	3,399,149	3,239,362
資産合計	8,364,839	7,836,390
負債の部		
流動負債		
買掛金	474,804	628,171
短期借入金	1,060,000	560,000
1年内償還予定の社債	—	1,000,000
未払費用	720,483	799,238
未払法人税等	25,282	11,847
賞与引当金	80,787	—
その他	153,633	186,967
流動負債合計	2,514,991	3,186,226
固定負債		
社債	1,300,000	300,000
繰延税金負債	—	15,384
退職給付に係る負債	568,487	553,503
資産除去債務	23,153	23,171
長期未払金	139,894	139,894
その他	62,620	65,839
固定負債合計	2,094,156	1,097,793
負債合計	4,609,148	4,284,020

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,450,897	2,245,436
自己株式	△310,806	△310,806
株主資本合計	3,732,492	3,527,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,608	48,013
退職給付に係る調整累計額	△11,410	△22,674
その他の包括利益累計額合計	23,198	25,338
純資産合計	3,755,690	3,552,370
負債純資産合計	8,364,839	7,836,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,497,275	7,302,530
売上原価	4,730,326	4,566,358
売上総利益	2,766,949	2,736,172
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	451,752	473,202
退職給付費用	47,522	27,168
賞与引当金繰入額	25,404	—
支払手数料	184,173	253,145
運搬費	822,540	813,145
販売促進費	342,919	340,674
その他	848,013	919,016
販売費及び一般管理費合計	2,722,327	2,826,353
営業利益又は営業損失(△)	44,621	△90,181
営業外収益		
受取利息	102	95
受取配当金	4,475	4,043
廃油売却益	11,068	10,654
その他	9,632	8,640
営業外収益合計	25,277	23,433
営業外費用		
支払利息	12,510	9,682
たな卸資産廃棄損	13,645	8,626
その他	631	588
営業外費用合計	26,787	18,897
経常利益又は経常損失(△)	43,112	△85,644
特別利益		
投資有価証券売却益	37,027	681
受取保険金	6,685	11,452
特別利益合計	43,713	12,133
特別損失		
固定資産売却損	—	600
固定資産処分損	7,682	4,187
災害による損失	5,319	5,301
投資有価証券評価損	3,679	4,577
特別損失合計	16,681	14,665
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	70,144	△88,176
法人税等	34,947	66,653
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,197	△154,830
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	35,197	△154,830

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,197	△154,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,823	13,404
退職給付に係る調整額	37,127	△11,264
その他の包括利益合計	△53,695	2,140
四半期包括利益	△18,498	△152,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,498	△152,689
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	70,144	△88,176
減価償却費	243,914	245,377
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,241	△80,787
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,599	△26,247
受取利息及び受取配当金	△4,577	△4,138
支払利息	12,510	9,682
固定資産売却損益(△は益)	—	600
固定資産処分損益(△は益)	7,682	4,187
災害損失	5,319	5,301
投資有価証券評価損益(△は益)	3,679	4,577
投資有価証券売却損益(△は益)	△37,027	△681
受取保険金	△6,685	△11,452
売上債権の増減額(△は増加)	△360,045	△336,457
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,617	△18,221
仕入債務の増減額(△は減少)	130,090	153,366
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	△14,408	△6,742
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,948	△24,875
その他	58,918	73,823
小計	98,306	△100,864
利息及び配当金の受取額	10,047	9,719
利息の支払額	△12,567	△9,727
災害損失の支払額	△5,319	△5,301
保険金の受取額	6,685	11,452
法人税等の還付額	37	—
法人税等の支払額	△58,570	△19,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,619	△114,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	59,957	1,499
投資有価証券の取得による支出	△2,160	△3,597
有形固定資産の売却による収入	—	46,000
有形固定資産の取得による支出	△75,717	△82,442
有形固定資産の除却による支出	△6,405	—
無形固定資産の取得による支出	—	△7,339
その他	979	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,346	△45,871
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	560,000	560,000
短期借入金の返済による支出	△580,000	△1,060,000
リース債務の返済による支出	△17,558	△19,597
自己株式の取得による支出	△5	—
配当金の支払額	△52,515	△50,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,078	△570,228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,806	△730,777
現金及び現金同等物の期首残高	3,727,196	3,323,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,652,389	2,592,862

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。